

プロジェクト発表 東京都予選会にて 3年連続 **最優秀賞**

題目：『江戸東京野菜で六次産業化』

～ 内藤唐辛子で広がる瑞穂町の絆 ～

7月16日に都立農産高等学校にて開催されました、東京都学校農業クラブ連盟主催のプロジェクト発表東京都予選会にて、最優秀賞（区分Ⅲ：ヒューマンサービス）を3年連続で受賞することができました。

その結果、8月18日に開催される関東地区学校農業クラブ連盟大会（栃木大会）に、東京都代表として出場することになりました。



【 発表生徒の感想・関東大会に向けて 】



昨年と違い、ぎりぎりでのスライドや原稿の作成及び発表練習になってしまったので不安でした。質疑応答も経験者ということで任せられ、大変緊張しました。本番は口調が少し早くなってしまいましたが、他のどの学校よりも良い発表が出来たと感じました。関東大会ではさらにいい発表が出来るように練習していきます。 <発表者・リーダー>

発表の舞台に立って緊張で震えましたが、発表が進んでいくにつれて落ち着くことができたと思います。他校の発表者が原稿を読んでいるのを見ていて、私たちは「原稿を覚えてきて本当によかった。」と思いました。でも、8分のベルが鳴ったところから慌てて早くなってしまったので、落ち着いて発表できるようにしていきたいです。



今回は勝ち上がることが出来ましたが、他校も来年は必ず強くなって帰ってくると思うので、来年も勝ち上がれるようにこのまま町との連携・協力を続けていきたいです。

最後になりますが、Ⅲ類の東京都代表として関東大会では堂々と発表できればいいと思っています。Ⅲ類以外の他の高校の活動が知れたのも良い経験になりました。

<発表者・代表者>

今年は、プロジェクト発表に向けて練習をし始めたりするのが遅くなり、無事に良い発表が出来るのかとずっと不安に感じていましたが、メンバー全員が緊張しつつもしっかりやってくれたのでとても良い発表が出来たと思います。

私にとって今年が最後になります。関東大会でも今回以上に良い発表ができたと思います。

<発表補助者>

練習ではかなりグダグダしていて、都大会前までは正直勝ち抜けるか不安で仕方ありませんでした。しかし、本番で発表者が堂々と発表していたり、質疑応答でもしっかりと答えていたので、それを見て不安が安心に変わりました。結果も見事勝ち抜くことができ、とても嬉しかったです。関東大会でもこの喜びを味わえるようにしたいです。

<発表補助者>